

河川

近畿管内では10水系における河川事業、4箇所 dams 事業、5箇所の砂防事業、1箇所の地すべり事業、1箇所の海岸事業を実施しています。
 (新宮川水系・紀の川水系・大和川水系・淀川水系・加古川水系・揖保川水系・円山川水系・由良川水系・北川水系・九頭竜川水系河川改修/瀬田川水系・木津川水系・六甲山系・九頭竜川水系、紀伊山地砂防/亀の瀬地すべり対策/東播海岸)

大規模災害の復旧(再度災害防止)

平成23年台風12号により、紀伊半島は日本の年間の平均降水量を超過する総雨量約2,000mmの未曾有の豪雨が発生しました。

また、三重県、奈良県、和歌山県で床上浸水家屋が3,000戸に及ぶ甚大な被害をもたらしたほか、紀伊半島全体で3,000箇所以上の土砂崩壊を引き起こし、その量は1億m³を超えています。



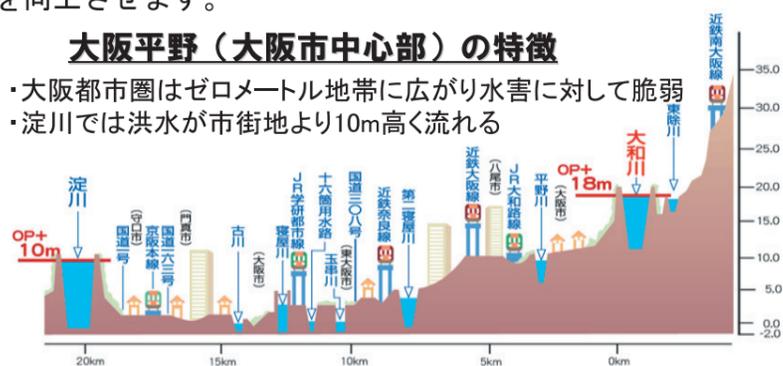
平成23年度より再度災害防止を目的として、熊野川河川激甚災害対策特別緊急事業、紀伊山系特定緊急砂防事業を実施し、災害に強い社会基盤整備を進めます。

大都市の治水安全性向上

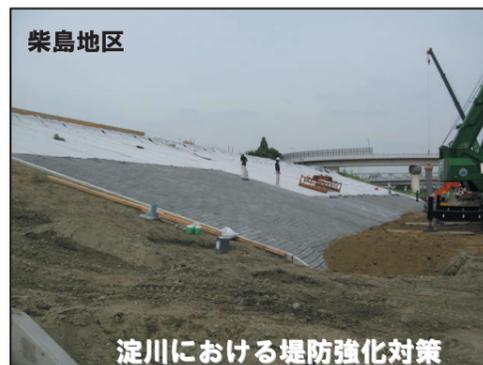
ゼロメートル地帯である大阪市を氾濫源に含む淀川、大和川でひとたび大出水が発生すれば甚大な被害が想定されます。これら大都市を擁する河川で河道掘削、堤防の質的強化等を実施し治水安全度を向上させます。

大阪平野(大阪市中心部)の特徴

- ・大阪都市圏はゼロメートル地帯に広がり水害に対して脆弱
- ・淀川では洪水が市街地より10m高く流れる



大和川下流部における河道掘削



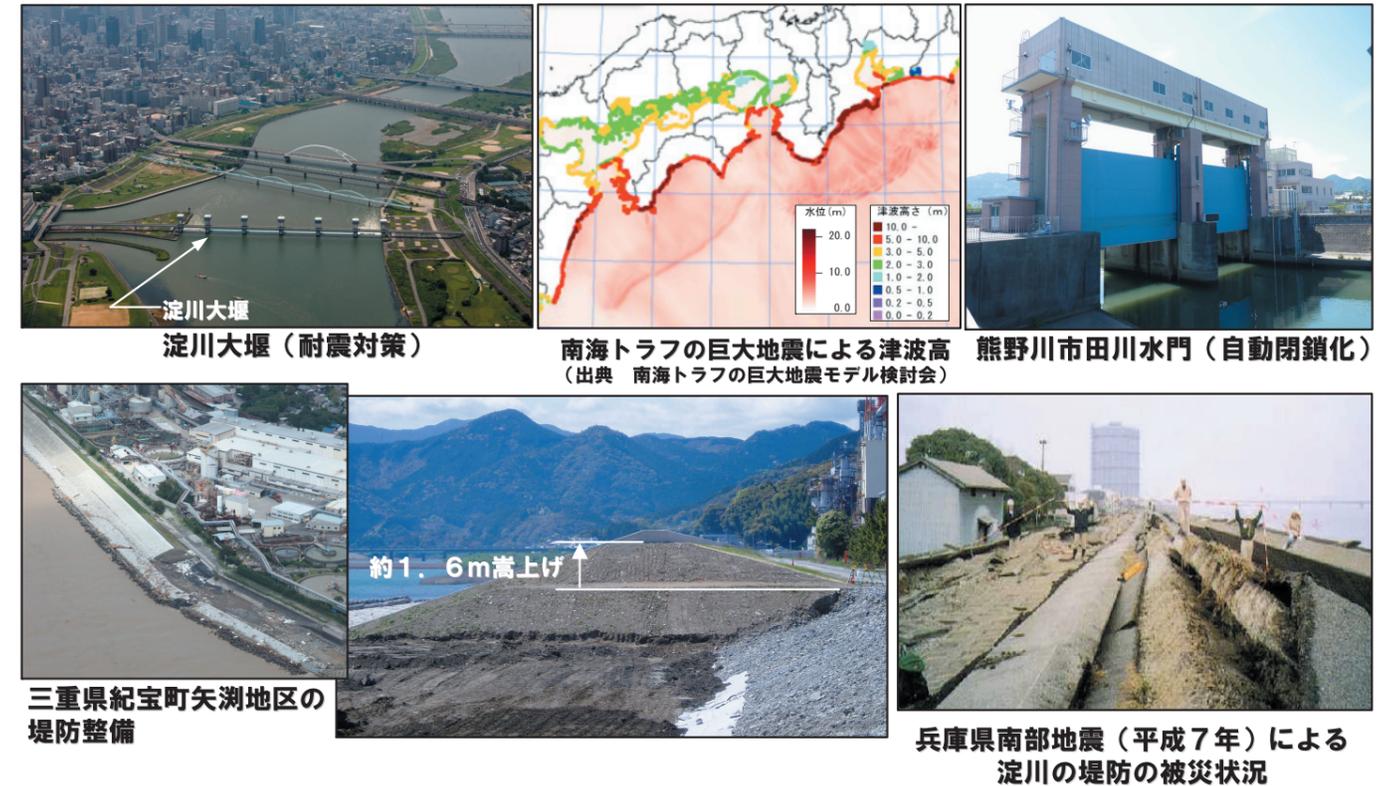
淀川における堤防強化対策



淀川における高規格堤防整備

東南海・南海地震への備え(耐震・津波対策)

今後、30年間で60%~70%の確率で発生するとされている東南海・南海地震に対して、堤防・構造物の耐震化や、津波に対する水門・樋門のゲート操作機能を強化します。



持続可能で活力ある国土地域づくり

人と自然の共有する社会の実現に向けて、多様な生物の生息・生育・繁殖環境を再生するため、河川の環境整備を実施します。



円山川水系加陽地区での大規模湿地再生



湿地再生箇所にて採餌するコウノトリの集団
円山川 堀川橋上流右岸 H23.1

円山川流域における取り組み
湿地等の再生により、鳥類の採餌場を確保。

九頭竜川流域における各機関の取組
国交省：九頭竜川自然再生事業
農水省：冬水たんぼ実証試験
福井県：コウノトリを呼び戻す田園環境再生事業
越前市：環境調和型農業推進事業

福井県におけるコウノトリの主な飛来地

